

干潟の価値と保存方法の調査

自治体名 : 大韓民国 忠清南道
発表者名 : 權 赫珍(クオン ヒョクジン)(大川中学校)
活動期間 : 6月24日~27日
活動場所 : 忠清南道保寧市ごみ焼却場前の干潟
活動人数 : 7人

○活動を始めた経緯

日頃から干潟に対して関心を持っていたこと、また今回の環境シンポジウムに参加することになったのがきっかけで始めることになった。

○活動結果

干潟の重要性、そして干潟の保存方法に対して考えることができるようになり、今後、より一層環境に関心を持って生活しなければいけないと思うようになった。

○発表要旨

干潟は多様な価値を持っている。ネイチャー(Nature)誌によると、一般的に、干潟は1ヘクタールの農耕地よりも100倍以上の価値を持っていると記述されている。干潟は、満ち潮と引潮の影響で酸素と有機物が多く、そのため、そこに棲む生物の種類が多様である。したがって、漁民たちは漁業活動の90%を干潟に依存している。また渡り鳥の休息と繁殖のための場所でもある。海洋水産庁の資料によると、漢江河口では、渡り鳥のマナツルが385羽観察されたという。この数は、全飛来数約3000羽の10%に当たる。

干潟は自然浄化の機能もすぐれていて、干潟1km²に生息する微生物が汚染物質を分解する能力は、都市下水処理場1箇所の処理能力に匹敵すると言う。また、500匹のゴカイは、一日に人間一人の排せつ物量2kgを浄化させるほどの分解力を持つと言う。また台風や津波が発生したときには、これを一次的に吸収、緩和して陸地地域における被害を減少させる役割をする。

現在、干拓によって干潟が次第に消えているのが実情である。また、残った干潟も環境汚染や地球の異常気温などによって破壊されていっている。

私たちが実行できる干潟の保存方法はとても小さなことである。しかし、その効果は小さくはない。干潟は環境汚染にとても敏感に反応する。特に、生活排水に混ざっている洗剤の影響が致命的で、干潟にいる生物全体が絶滅する場合もたびたびある。

したがって、私たちができることから努力して生活排水を減らすように実践したら、干潟は少しずつ良い状態に回復して行くことと思う。また、干潟に対する認識を広げる

ことにより、一層積極的な干潟保全活動を広めて行けるようになると思う。例えば、アメリカでは、干潟の大切さが広く知られて行くことにより、市民たちの積極的な保全活動が実施され、それによって干拓された干潟を元の状態に戻すという成果をおさめた。現在では、塞がれていた堤防も壊し自然のままの状態で保存しようと努力している。この例と同じく各々の人々が干潟が大切であるという認識をもつことにより、干潟を保存することができると思う。